

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（領域開拓プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

「パンデミックなど世界規模の災禍への人間社会の対応と課題」

研究テーマ名

「グローバルな視座から見た原子力災害後のコミュニケーションに関する総合的研究」

責任機関

東京大学

研究実施期間

令和2年10月～令和5年3月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	関谷 直也	東京大学大学院情報学環・准教授
グループリーダー	小山 良太	福島大学食農学類・教授
グループリーダー	丹波 史紀	立命館大学産業社会学部・教授
分担者	齋藤 さやか	東京大学大学院情報学環・特任助教
分担者	石井 秀樹	福島大学食農学類・准教授
分担者	清水 晶紀	福島大学行政政策学類・准教授
分担者	除本 理史	大阪市立大学大学院経営学研究科・教授

配分（予定）額

（単位：円）

令和2年度	令和3年度	令和4年度
2,925,000円	5,850,000円	5,846,100円

※令和3年度・令和4年度については予定額

研究目的の概要

本研究は「危機」としての「原子力事故」、その後の「社会変動」を生み出した長期にわたる「原子力災害」におけるコミュニケーション（農林水産業など地域産業復興におけるコミュニケーション、避難者対応などの社会政策におけるコミュニケーションなど）はどうあるべきだったか、今後どうあるべきかについて検証する。

研究計画の概要

本研究では、東京電力福島第一原子力発電所事故という「危機」時のコミュニケーションにおいて、農林水産業など地域産業復興に関するコミュニケーション、避難者対応や廃炉に関するコミュニケーション（避難者対応、処理水、除染、中間貯蔵など廃棄物処理など）について、国内アンケート調査、国際比較調査を実施する。